

発見! 業務改革の新機軸

法人間の決済にVisaカードを!

「Visa Business Pay」が注目の的

PRESIDENT Online 2016年6月 タイアップ掲載記事



VISA

ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社

Visa Business Pay ヘルプデスク

TEL : 03-6416-0651 (平日10:00-18:00 土日祝祭日は除く)

Visa Business Pay ホームページ - B2B決済業務への新たなご提案

www.visabizpay.com

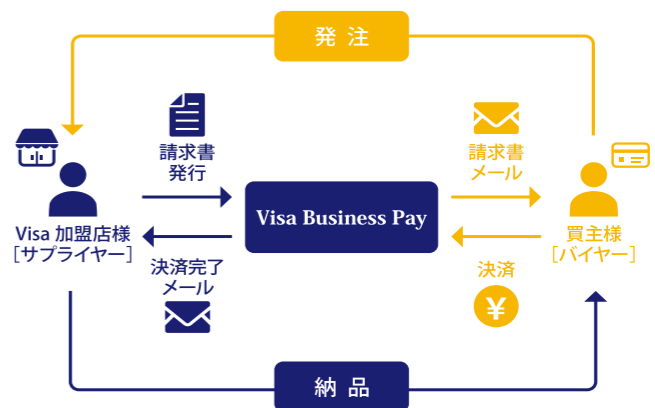
手間のかかる「請求・回収業務」を大きく改善する画期的なシステムが登場

請求書を出力して、封入し、切手を貼って、投函する……。そんな当たり前の請求業務のあり方を大きく変える決済サービスが、いま着実に広がりを見せ始めている。

業務の効率化でさらなるコスト削減を。あらゆる企業にとって共通の課題には違いないが、まさに、言うは易く行うは難し。特に管理部門の業務などは、固定化、定型化しているものも多いため、そもそも作業の無駄や不効率に気づきにくいのが実情だろう。

そうした中で今回、ぜひ目を向けてほしいのが「請求・回収業務」の効率化である。作成した請求書をプリントアウトして、社判等を押印。それを封入して、切手を貼って投函する……。考えてみれば、アナログの作業が多く残っているのが「請求・回収業務」だ。もちろん請求後の入金確認なども、経理担当者にとっては手間のかかる作業になっている。

まさに、そうした一連の作業にカード決済を取り入れ、ウェブ上で完結できる法人向けサービスが「Visa Business Pay」である。開発を担当したビザ・ワールドワイド・ジャパン・コーポレーション・イン・ジャパンの森田智彦氏は言う。「こうして今まで、こういう仕組みがなかったんだろう。加盟店様、その取引先様に、そう言っていただけのシステムを目指しました。ネットショッピングをはじめ、個人決済でのクレジットカード



利用が当たり前になる中、法人間の決済でも便利に使える仕組みがあってもいいはず。この思いが開発の原点です。「Visa Business Pay」なら、必要情報を登録・入力し、あとはワンクリックで請求ができる。もちろん請求された側もウェブ上で簡単にカード決済をすることが可能です」森田氏言うとおり、「Visa Business Pay」の基本的な仕組みはともシンプル。請求する側の企業(加盟店)※は、パソコンの画面上で請求書を作成し、「請求書発行ボタン」をクリックするだけで。すると取引先に請求書メールが送信され

る。請求書を受け取った側もメールに従ってVisaのカードで決済することで、銀行振り込みの手間から解放されることになる。決済完了後は、加盟店に決済完了メールが自動的に着信。未決済の状況もリアルタイムで確認できるから便利だ。加盟店から取引先に領収書の発行も可能である。

※「Visa Business Pay」を利用するには、Visaカードの加盟店となり、企業情報などを登録する必要がある。

法人間の決済業務を劇的に効率化する「Visa Business Pay」。その見逃せない活用メリットの一つに、入金消し込み作業の大幅軽減がある。

「請求額から振込手数料が差し引かれて入金されたり、入金名義が請求書の宛名と異なっていたり……。請求データと入金データの照合は、実はとても大変な作業です。その点、入金元が明確に分かる「Visa Business Pay」なら、これまでのような勘と経験に頼った消し込み作業が不要になる。これを評価される企業様は多いですね。そのほか一連の使い方を説明すると、何より現場の経理担当の方が「社長、これ入れましょうよ」と言ってくれます(笑)。その一言が導入の決め手になる場合も少なくありません」

「Visa Business Pay」を導入するにあたって、特別な準備は必要ない。ウェブ上のサービスのため、ネットにつながったパソコンがあればOKだ。しかも、初期費用や月額使用料は一切不要。通常のクレジットカード決済手数料は発生す

るが、印刷代や郵便代、そして人的コストの削減を考えれば、コストメリットを手にできる会社がほとんどだろう。また実際に使い始めてみると、多様な機能がユーザーのニーズにきめ細かく応えていることに気づく。これも、このシステムが支持を広げている理由だろう。例えば社判等の押印機能。請求書や領収書に社判は必須という企業も、デジタル印影を登録すれば容易にそれを画面上の書類に反映させることができる。

「システム化しても、従来の請求業務をできるだけ変えたくない。これが多くの企業様のお考えです。これまで請求書と一緒に明細書を同封していたのであれば、システム化してもやはり同じようにしたい。当然のことです。そこで「Visa Business Pay」にも明細添付機能を追加しました。お客様の声に応じてシステムの仕様を変更できるのがウェブサービスのいいところです」

自動引き落としにも対応し、さらに便利に！

そんな「Visa Business Pay」に先頃、待望の新機能が追加された。「らくらく決済」定額自動決済」がそれだ。内容は、公共料金等の自動引き落としサービスをイメージすると分かりやすい。取引先の承諾のもと、請求書発行に伴って自動的に決済を行うのだ。定期的な請求はあるが、その都度、請求金額などが異なる場合は「らくらく決済」を、指定した日に毎月固定の金額の決済を行う場合は「定額自動決済」を使えばいい。

「私たちが何より目指しているのは、

法人間の決済で見過ごされていた不効率を解消すること。その意味では、請求漏れ、支払い漏れの対策になる今回の新機能も、請求する側、される側の双方のユーザー様に便利に使っていただけるはず。まさに公共料金等の支払いでは当たり前に行っていることができるようになったわけですから」と森田氏は言う。

医療、建築、理美容、アパレルといった物販分野、さらには広告宣伝、IT、倉庫業など、あらゆる領域で導入が進む「Visa Business Pay」。中には、その採用が他社との差別化要素となり、新規顧客の開拓につながっている企業も出てきている。なぜなら請求される側にとって

も、やはりカード決済ができることのメリットは大きいからだ。単に銀行振り込みの手間が省けるだけでなく、二十四時間三百六十五日いつでも支払いができるスマートフォンなどでも支払いや確認作業が可能。さらにカードによっては、もちろんポイントも貯まってい……。一方で、特別なデメリットはないのである。

毎月、疑問を持つことなく、多くを手作業で行っていた請求・回収業務を革新する画期的なB2B専用決済システム。その活用が、自社にどんなプラスをもたらすか。一度、真剣に検討してみる必要がありそうだ。

だから「Visa Business Pay」を使う企業が増えている！

「スマートな請求でコストを削減できる」請求書の印刷代、郵送料などが不要になるのはもちろん、業務の効率化により、担当者、責任者が別の業務に時間を使える。

決済状況をウェブ上で素早く確認できるのも便利。

「導入にあたって、特別な準備は必要なしウェブサービスのため、ネットにつながったパソコンがあればすぐに利用を開始できる。初期費用や月額使用料もかからないので、コストの面でも安心だ。」

「従来の請求ワークをあまり変えないで済む明細書の添付機能なども用意されているので、従来の請求業務をそのままウェブ上に移行可能。社判や会社のロゴなどもデジタル印影として登録すれば、書類に反映できる。」

「他社と差別化するツールになる請求される側の企業も、クレジットカード決済が可能になることで多くのメリットを得られる。そうした環境を提供できることが、新規顧客の開拓の武器にもなり得る。」

CX(顧客体験)のさらなる充実に貢献する重要なツール

「二〇一五年十一月に「Visa Business Pay」を導入した航空会社スターフライヤー。その狙いはどこにあったのか。同社の石山健二営業本部長に聞いた。

顧客満足度七年連続第一位(※)……。おかげさまで、お客様から高い評価をいただいている当社では、CX(カスタマー・エクスペリエンス:顧客体験)のさらなる充実に向け、事業活動のあらゆる場面で業務改善を進めています。

今回の「Visa Business Pay」の採用もまさにその一環。すでに路線によっては二〇%を超える割合になっている法人のお客様へのサービス向上で何かできる



石山 健二 株式会社スターフライヤー 執行役員 営業本部長

ことはいか……。そう考えたとき、個人のお客様だと複数の選択肢がある決済手段が、法人様の場合、限られていることに気付いたのです。

弊社では、以前より法人企業様向けの「SF-Biz」という予約専用システムを導入していました。この「SF-Biz」は、ご契約いただいた法人のお客様が出張等の航空券をインターネットで簡単・便利に予約できるシステムです。既に多くの企業様にご利用いただいておりますが、今回「SF-Biz」の決済手段として「Visa Business Pay」を導入しました。「Visa Business Pay」の導入は、お客様の手の軽減はもちろん、決済内容の見える化」という面でも効果を発揮しています。

例えば法人様においては、月ごとの決済内容を確認することで、毎月ごとの決済内容を把握できるようにもなりました。またすでに、複数の法人様との間で「らくらく決済」も利用中。毎月、自動で代



SF-Bizおよびカードのお問い合わせ
093-555-6067(スターフライヤー)
(9:00~12:00、13:00~18:00)土日祝休
http://www.starflyer.jp/reservation/sf_biz/

金の引き落としができるこの仕組みは、やはり支払いのミスや漏れをなくせる点が好評です。更にお客様の満足度を高めるため、「スターフライヤー」の「ビジネスカード」の取り扱いも開始しました。航空代金だけでなく、出張時の飲食代、宿泊代などの支払いに利用可能で、搭乗時のフライトマイルはもちろん、経費の支払いでもマイルが貯まる国内初の法人カードとなっています。

今後、スターフライヤーとしては、「Visa Business Pay」を法人営業の場面においても積極的に活用していきたいと考えています。実際、クレジットカード決済が可能となったことで、弊社の法人様専用の予約システム「SF-Biz」を利用できる企業様は拡大しました。その効果もあってか、会員登録に関するお問い合わせ件数も増加傾向です。

初めに申し上げた「CXのさらなる充実」は、空港や機内に限ったものではありません。お話ししてきたとおり、決済をはじめとした周辺サービスでも、まだまだできることがあるはず。これからお客様の目線を大事に、さまざまなチャレンジを行うことで、顧客満足度第一位の実績を重ねていきたいと思っております。

※二〇一五年度JCSI(日本版顧客満足度指数)調査 国内航空